



2025年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月14日

上場会社名 PostPrime株式会社 上場取引所 東
コード番号 198A URL <https://corp.postprime.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 ダニエル 圭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートグループ (氏名) 羽鳥 有紀彦 TEL 03(6758)7255
リーダー
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家及びアナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年5月期第3四半期の連結業績（2024年6月1日～2025年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年5月期第3四半期	684	—	198	—	196	—	104	—
2024年5月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2025年5月期第3四半期 104百万円（－％） 2024年5月期第3四半期 ー百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第3四半期	10.38	9.95
2024年5月期第3四半期	—	—

- （注）1. 当社は、2025年5月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期第3四半期の数値及び2025年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2025年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2024年6月20日付で東京証券取引所グロス市場に上場したため、新規上場日から2025年5月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年5月期第3四半期	1,368	1,015	73.9
2024年5月期	—	—	—

（参考）自己資本 2025年5月期第3四半期 1,011百万円 2024年5月期 ー百万円

（注）当社は、2025年5月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2024年5月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年5月期	—	0.00	—		
2025年5月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円 1,136	% —	百万円 307	% —	百万円 331	% —	百万円 217	% —	円 銭 21.51

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
2. 2025年5月期第2四半期（中間期）より中間連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2024年6月19日付で払込完了した公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行100,000株を含めた期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 （社名）TakaTrade株式会社（旧 PostPrime Trading 株式会社）

- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

- （4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年5月期3Q	10,101,100株	2024年5月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2025年5月期3Q	—株	2024年5月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年5月期3Q	10,093,482株	2024年5月期3Q	—株

（注） 2024年5月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(会計上の見積りの変更に関する注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

当社は、中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、所得・雇用環境が改善し緩やかな回復基調となりました。一方で、ロシア・ウクライナ危機の長期化や、エネルギーや食料品を中心とした物価の上昇、世界的な金融資本市場の変動等の影響によって、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループでは、中長期的な企業価値の向上と持続的成長の実現に向け、当社グループが主力事業として運営するSNS「PostPrime」を中心として、より多くのユーザーに利用していただけるようにするため、ユーザーにとって魅力的かつ有益な新機能や新サービスの開発に継続的に取り組んでおります。

このような取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、684,549千円、営業利益は198,098千円、経常利益は196,288千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は104,804千円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、中間連結会計期間より、報告セグメントを従来の単一セグメントから「金融・経済情報プラットフォーム事業」「取引プラットフォーム事業」の2区分に変更しております。

①金融・経済情報プラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間においては、プライムPlus、IZANAVIをリリースいたしました。プライムPlusでは、各クリエイターが複数のプライム登録価格を設定し、それぞれのプライム登録者に対し異なるコンテンツを提供することを可能とします。また、IZANAVIでは、AIが機械学習した過去のマーケットデータに基づくチャートパターン等の情報をユーザーに提供する機能です。これらにより、SNS「PostPrime」の有用性・利便性を一層高め、当社グループのサービスをより幅広く活用いただくことを目指してまいります。

この結果、売上高は684,549千円、営業利益は253,290千円となりました。

②取引プラットフォーム事業

取引プラットフォーム事業は中間連結会計期間より開始した新規事業であり、2024年10月にP o s t P r i m e T r a d i n g 株式会社（現、T a k a T r a d e 株式会社）を設立し、取引プラットフォームの調査及び運営に向けた開発を開始いたしました。

この結果、営業損失は68,192千円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,368,768千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金915,438千円、有価証券212,555千円であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は353,758千円となりました。その主な内訳は、契約負債168,515千円、未払法人税等91,483千円、未払金61,365千円であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,015,009千円となりました。その主な内訳は、利益剰余金969,043千円、資本金21,898千円、資本剰余金20,898千円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の連結業績予想については、2025年1月14日に開示した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2025年2月28日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	915,438
売掛金	32,855
仕掛品	3,405
有価証券	212,555
前渡金	3,315
前払費用	13,599
未収収益	477
未収入金	792
預け金	60,216
仮払金	70,139
その他	4,135
流動資産合計	1,316,929
固定資産	
有形固定資産	
工具、器具及び備品	8,500
減価償却累計額	△5,212
有形固定資産合計	3,288
投資その他の資産	
差入保証金	4,383
長期前払費用	75
繰延税金資産	44,091
投資その他の資産合計	48,550
固定資産合計	51,839
資産合計	1,368,768
負債の部	
流動負債	
買掛金	17,564
未払金	61,365
未払費用	330
預り金	3,916
未払法人税等	91,483
未払消費税等	10,233
契約負債	168,515
コイン引当金	349
流動負債合計	353,758
負債合計	353,758
純資産の部	
株主資本	
資本金	21,898
資本剰余金	20,898
利益剰余金	969,043
株主資本合計	1,011,839
新株予約権	3,170
純資産合計	1,015,009
負債純資産合計	1,368,768

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第 3 四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第 3 四半期連結累計期間 （自 2024年 6 月 1 日 至 2025年 2 月 28 日）
売上高	684, 549
売上原価	76, 557
売上総利益	607, 991
販売費及び一般管理費	409, 893
営業利益	198, 098
営業外収益	
受取利息	204
有価証券利息	7, 078
雑収入	774
営業外収益合計	8, 056
営業外費用	
為替差損	9, 866
雑損失	0
営業外費用合計	9, 866
経常利益	196, 288
税金等調整前四半期純利益	196, 288
法人税等	91, 483
四半期純利益	104, 804
親会社株主に帰属する四半期純利益	104, 804

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

		当第3四半期連結累計期間 （自 2024年6月1日 至 2025年2月28日）
四半期純利益		104,804
四半期包括利益		104,804
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益		104,804
非支配株主に係る四半期包括利益		—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することといたしました。

なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上することとしております。

当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

当社が運営するSNS「PostPrime」において、登録ユーザーに付与したコインの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をコイン引当金として計上することとしております。

前事業年度までは、コインを付与するというサービスが開始されてからの期間が短かったこともあり、コイン失効の実績データが不足していたため、コイン残高の全額を計上しておりましたが、第1四半期会計期間において、コイン失効の実績データが十分に把握可能となったため、コイン残高の全額からコイン失効の見込額を控除した金額を計上する方法に変更いたしました。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれが1,640千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当第 3 四半期連結累計期間（自 2024年 6 月 1 日 至 2025年 2 月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金融・経済情報 プラットフォーム事業	取引プラットフォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	684, 549	—	684, 549	—	684, 549
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	684, 549	—	684, 549	—	684, 549
セグメント利益又は損失 (△)	253, 290	△68, 192	185, 098	13, 000	198, 098

（注） 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額13,000千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

ユーザーに対して情報提供の枠を超えた新たな価値の提供を行うことを可能とする取引プラットフォームの調査及び運営に取り組む目的で、2024年10月 1 日に100%出資の子会社を設立しており、第 2 四半期連結会計期間から、報告セグメントとして「取引プラットフォーム事業」を新設しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年 6 月20日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2024年 6 月19日を払込期日とする一般募集による新株式の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ20,700千円増加しております。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間における新株予約権の行使による新株式の発行を含めて、当第 3 四半期連結会計期間末において資本金が21,898千円、資本剰余金が20,898千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年6月1日 至 2025年2月28日）
減価償却費	1,868千円
のれんの償却額	—